

成長戦略の5つの柱に基づいた取り組み ―ビジネス紹介―



システム建築は工場・倉庫の建築分野でスタンダードな工法へ

システム建築の主な対象は工場・倉庫です。工場は、半導体関連の建設投資やサプライチェーンの国内回帰の需要、倉庫は、2024年問題への対策としての拠点整備や老朽化に伴う建て替え需要が高まっています。一方で、労働時間の短縮や人手不足による工期の長期化、資材価格の上昇が建築主の課題となっています。また、建設業界はSDGsへの取り組みが遅れており、その解決策としてシステム建築が注目されています。

システム建築とは

システム建築は、建物の柱間や高さの寸法を規格化し、部材を標準化して、あらかじめ工場で製作する比率を高める工法です。これにより、現場施工の手間や不均一性を減らし、標準的な工場・倉庫であれば、一般工法と比較して工期・コストを約25%圧縮できます。また、基礎システムでの残土・コンクリート量の低減、部材のモジュール化・標準化による鋼材使用量・鉄骨溶接量・ロスの低減や、全国に配置した部材製作拠点からの供給体制による高い輸送効率など、カーボンニュートラルにつながる点が多いという特徴もあります。



基礎システム

日鉄物産システム建築が選ばれる理由

システム建築を提供するメーカーは複数ありますが、当社は平屋だけでなく2階建てまで対応可能で、バリエーションが豊富な基礎・鉄骨システムを組み合わせた商品レパートリーの広さは業界随一です。特に、様々な地盤条件に対応できる独自の基礎システムは、設計面での最適化、現場施工面での大幅な省力化による工期短縮、更にコストダウンが図れ、他社との差別化につながっています。当社は、半世紀近い歴史の中で積み上げた独自の技術とノウハウを持つ専門メーカーとして、過去4,500棟、毎年200棟を超える実績があり、当社商品を何度も採用いただきリピーターが全国各地に広がっています。



鉄鋼事業

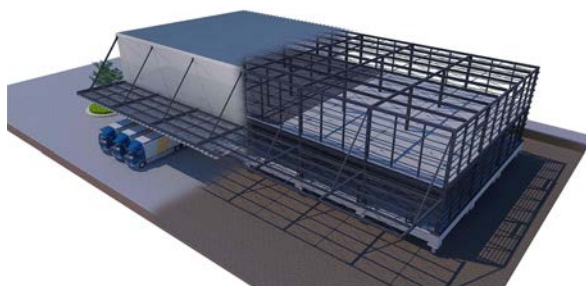
日鉄物産システム建築(株)

廣本 英雄



今後の展望について

工場・倉庫建築分野で、ターゲットとなる700~7,000㎡規模のマーケットでは、当社を含むシステム建築のシェアは30%を超えていると推定され、今や「システム建築」はこの領域においてはスタンダードな工法になりつつあります。「環境にやさしい」「働く人にやさしい」といったコンセプトを持ち、省力化を目指した建物を低コスト・短工期・高品質で実現するシステム建築が、建設業界の課題を解決しながら、地域社会の発展に貢献し、「建築主様にとって最適なソリューションとは何か」を追求し続けることによって、今後も事業を成長させていきます。



商品一例:NEO-Grid IIのベース図

